

令和3年度学校保健統計調査の結果確報（高知県分）

【調査の概要】

1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得るものである。

2 調査事項

児童等の発育状態（身長、体重）及び健康状態（疾病・異常の有無）。

3 調査の対象

調査の対象は、文部科学大臣が指定する幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び高等学校（以下「調査実施校」という。）に在籍する満5歳から17歳（令和3年4月1日現在）までの児童等の一部（抽出調査）。

〈調査実施校数及び調査対象者数〉

区 分	調査実施校 (校・園)	発育状態調査		健康状態調査	
		調査対象者(人)	抽出率(%)	調査対象者(人)	抽出率(%)
幼稚園	27	841	66.7	888	70.4
小学校	58	5,364	17.1	20,889	66.6
中学校	38	4,338	25.4	12,611	74.0
高等学校	24	2,087	12.2	13,087	76.4
計	147	12,630	18.9	47,475	71.1

- (注) 1. 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する幼児、児童及び生徒のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態の調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。
2. 幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む(以下同じ)。
3. 小学校及び中学校の抽出率は、それぞれ義務教育学校の第1学年から第6学年の児童数及び第7学年から第9学年の生徒数を含む割合としている。

4 調査の時期及び新型コロナウイルス感染症による影響

令和3年度については、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断について当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても調査期間が年度末まで延長された。

このため、本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、過去の数値と単純比較することはできない。

5 調査系統

文部科学大臣⇄都道府県知事⇄調査実施校の長

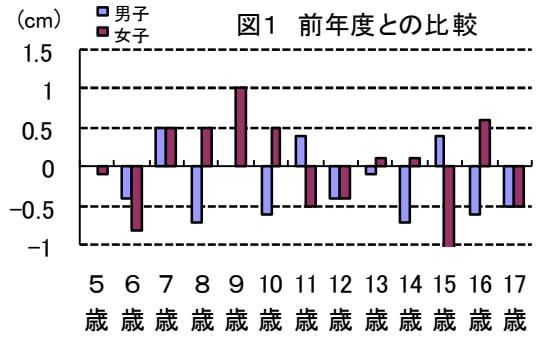
【調査結果の概要】

1 発育状態

(1) 身長

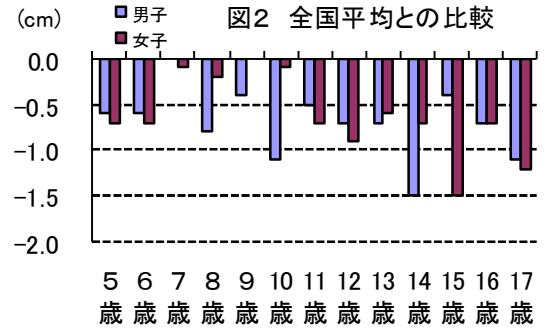
①前年度との比較 (図1)

- ・男子は、7、11、15歳で前年度より増加している。
- ・女子は、5、6、11、12、15、17歳を除く年齢で前年度より増加している。



②全国平均との比較 (図2)

- ・男子は、7歳を除く年齢で全国平均を下回っており、14歳では1.5cm低くなっている。
- ・女子は、9歳を除く年齢で全国平均を下回っており、15歳では1.5cm低くなっている。



③親世代 (30年前) との比較 (図3)

30年前の平成3年度と比較すると、

- ・男子は、6、17歳を除く年齢で親世代を上回っており、11、12歳で1.6cm高くなっている。
- ・女子は、5、6、12、14、15、17歳を除く年齢で親世代を上回っており、10歳で2.0cm高くなっている。

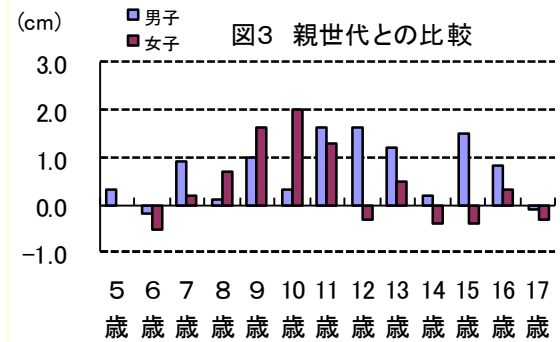


表1 年齢別身長の平均値

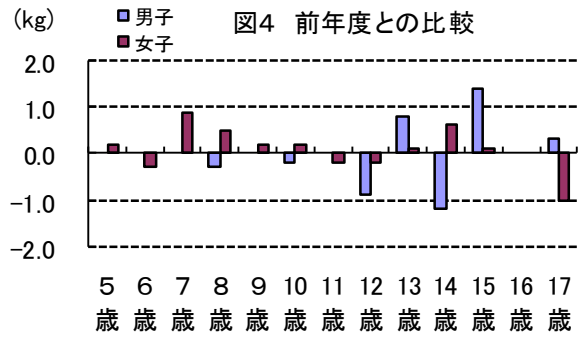
区分	年齢	男子							女子						
		H3年度 (30年前)	R2年度	R3年度	増減		全国		H3年度 (30年前)	R2年度	R3年度	増減		全国	
					対30年前	対前年度	R3年度	高知-全国				対30年前	対前年度	R3年度	高知-全国
幼稚園	5歳	110.1	110.4	110.4	0.3	0.0	111.0	△ 0.6	109.4	109.5	109.4	0.0	△ 0.1	110.1	△ 0.7
小学校	6歳	116.3	116.5	116.1	△ 0.2	△ 0.4	116.7	△ 0.6	115.6	115.9	115.1	△ 0.5	△ 0.8	115.8	△ 0.7
	7歳	121.7	122.1	122.6	0.9	0.5	122.6	0.0	121.5	121.2	121.7	0.2	0.5	121.8	△ 0.1
	8歳	127.4	128.2	127.5	0.1	△ 0.7	128.3	△ 0.8	126.7	126.9	127.4	0.7	0.5	127.6	△ 0.2
	9歳	132.4	133.4	133.4	1.0	0.0	133.8	△ 0.4	132.5	133.1	134.1	1.6	1.0	134.1	0.0
	10歳	137.9	138.8	138.2	0.3	△ 0.6	139.3	△ 1.1	138.8	140.3	140.8	2.0	0.5	140.9	△ 0.1
中学校	11歳	143.8	145.0	145.4	1.6	0.4	145.9	△ 0.5	145.3	147.1	146.6	1.3	△ 0.5	147.3	△ 0.7
	12歳	151.3	153.3	152.9	1.6	△ 0.4	153.6	△ 0.7	151.5	151.6	151.2	△ 0.3	△ 0.4	152.1	△ 0.9
	13歳	158.7	160.0	159.9	1.2	△ 0.1	160.6	△ 0.7	153.9	154.3	154.4	0.5	0.1	155.0	△ 0.6
高等学校	14歳	164.0	164.9	164.2	0.2	△ 0.7	165.7	△ 1.5	156.2	155.7	155.8	△ 0.4	0.1	156.5	△ 0.7
	15歳	166.7	167.8	168.2	1.5	0.4	168.6	△ 0.4	156.2	157.0	155.8	△ 0.4	△ 1.2	157.3	△ 1.5
	16歳	168.3	169.7	169.1	0.8	△ 0.6	169.8	△ 0.7	156.7	156.4	157.0	0.3	0.6	157.7	△ 0.7
	17歳	169.8	170.2	169.7	△ 0.1	△ 0.5	170.8	△ 1.1	157.1	157.3	156.8	△ 0.3	△ 0.5	158.0	△ 1.2

(注) 1. 年齢は、各年4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。
 2. 網掛け部分は、5～17歳のうち前年度差、全国平均差及び世代間差の男女それぞれの増加分の最大値を示す。
 3. 「△」は減少を示す。以下の各表において同じ。

(2) 体重

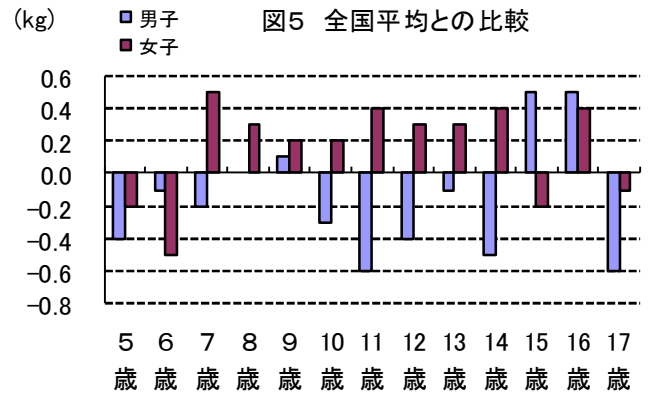
①前年度との比較 (図4)

- ・男子は、13、15、17歳で前年度より増加している。
- ・女子は、6、11、12、16、17歳を除く年齢で前年度より増加している。



②全国平均との比較 (図5)

- ・男子は、8、9、15、16歳を除く年齢で全国平均を下回っており、11、17歳では0.6kg軽くなっている。
- ・女子は、5、6、15、17歳を除く年齢で全国平均を上回っており、7歳では0.5kg重くなっている。



③親世代 (30年前) との比較 (図6)

- 30年前の平成3年度と比較すると、
- ・男子は、5歳を除く年齢で親世代を上回っており、15歳で2.2kg増加している。
 - ・女子は、6、15、17歳を除く年齢で親世代を上回っており、10歳で1.6kg増加している。

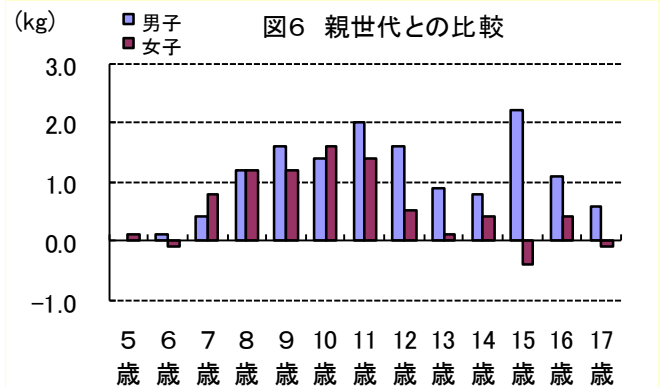


表2 年齢別体重の平均値

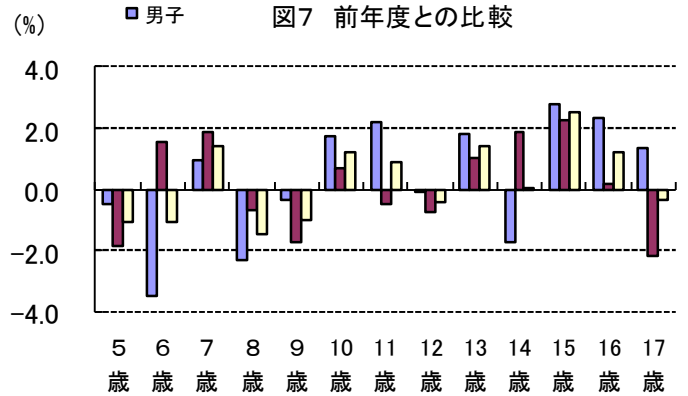
区分	男子								女子							
	H3年度 (30年前)	R2年度	R3年度	増減		全国		H3年度 (30年前)	R2年度	R3年度	増減		全国			
				対30年前	対前年度	R3年度	高知-全国				対30年前	対前年度	R3年度	高知-全国		
幼稚園	5歳	18.9	18.9	18.9	0.0	0.0	19.3	△ 0.4	18.7	18.6	18.8	0.1	0.2	19.0	△ 0.2	
小学校	6歳	21.5	21.6	21.6	0.1	0.0	21.7	△ 0.1	20.8	21.0	20.7	△ 0.1	△ 0.3	21.2	△ 0.5	
	7歳	23.9	24.3	24.3	0.4	0.0	24.5	△ 0.2	23.6	23.5	24.4	0.8	0.9	23.9	0.5	
	8歳	26.5	28.0	27.7	1.2	△ 0.3	27.7	0.0	26.1	26.8	27.3	1.2	0.5	27.0	0.3	
	9歳	29.8	31.4	31.4	1.6	0.0	31.3	0.1	29.6	30.6	30.8	1.2	0.2	30.6	0.2	
	10歳	33.4	35.0	34.8	1.4	△ 0.2	35.1	△ 0.3	33.6	35.0	35.2	1.6	0.2	35.0	0.2	
	11歳	37.0	39.0	39.0	2.0	0.0	39.6	△ 0.6	38.8	40.4	40.2	1.4	△ 0.2	39.8	0.4	
中学校	12歳	43.2	45.7	44.8	1.6	△ 0.9	45.2	△ 0.4	44.2	44.9	44.7	0.5	△ 0.2	44.4	0.3	
	13歳	49.0	49.1	49.9	0.9	0.8	50.0	△ 0.1	47.8	47.8	47.9	0.1	0.1	47.6	0.3	
	14歳	53.4	55.4	54.2	0.8	△ 1.2	54.7	△ 0.5	50.0	49.8	50.4	0.4	0.6	50.0	0.4	
高等学校	15歳	57.3	58.1	59.5	2.2	1.4	59.0	0.5	51.5	51.0	51.1	△ 0.4	0.1	51.3	△ 0.2	
	16歳	59.9	61.0	61.0	1.1	0.0	60.5	0.5	52.3	52.7	52.7	0.4	0.0	52.3	0.4	
	17歳	61.2	61.5	61.8	0.6	0.3	62.4	△ 0.6	52.5	53.4	52.4	△ 0.1	△ 1.0	52.5	△ 0.1	

(注) 網掛け部分は、5~17歳のうち前年度差、全国平均差及び世代間差の男女それぞれの増加分の最大値を示す。

2 肥満傾向児の出現率

(1) 前年度との比較 (図7)

- ・男子は、5、6、8、9、12、14歳を除く年齢で前年度より上昇している。
- ・女子は、5、8、9、11、12、17歳を除く年齢で前年度より上昇している。



(2) 全国平均との比較 (図8)

- ・男子は、5、6、13歳を除く年齢で全国平均を上回っており、15歳では3.83ポイント高くなっている。
- ・女子は、5、6歳を除く年齢で全国平均を上回っており、14歳では3.11ポイント高くなっている。

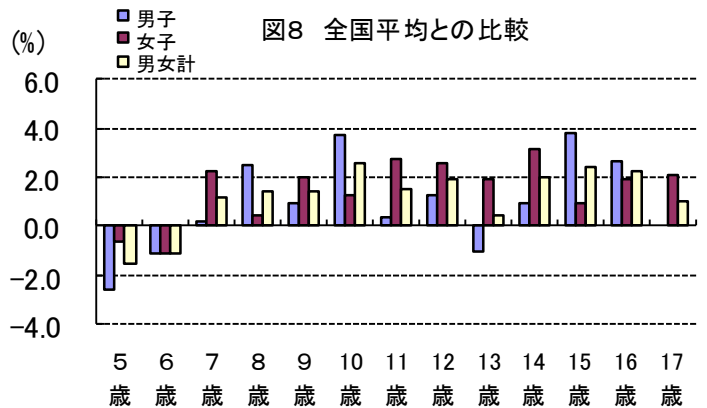


表3 肥満傾向児の出現率

区分	年齢	計						男子						女子					
		R2年度		R3年度		全国		R2年度		R3年度		全国		R2年度		R3年度		全国	
				対前年度	R3年度	高知-全国			対前年度	R3年度	高知-全国			対前年度	R3年度	高知-全国			
幼稚園	5歳	3.21	2.11	△ 1.10	3.66	△ 1.55	1.47	1.01	△ 0.46	3.61	△ 2.60	5.03	3.15	△ 1.88	3.73	△ 0.58			
小学校	6歳	5.16	4.11	△ 1.05	5.20	△ 1.09	7.65	4.15	△ 3.50	5.25	△ 1.10	2.54	4.07	1.53	5.15	△ 1.08			
	7歳	7.01	8.43	1.42	7.25	1.18	6.80	7.78	0.98	7.61	0.17	7.22	9.12	1.90	6.87	2.25			
	8歳	12.00	10.52	△ 1.48	9.06	1.46	14.55	12.23	△ 2.32	9.75	2.48	9.42	8.76	△ 0.66	8.34	0.42			
	9歳	12.67	11.63	△ 1.04	10.17	1.46	13.36	13.01	△ 0.35	12.03	0.98	11.93	10.22	△ 1.71	8.24	1.98			
	10歳	12.26	13.50	1.24	10.96	2.54	14.52	16.28	1.76	12.58	3.70	9.88	10.55	0.67	9.26	1.29			
中学校	11歳	11.65	12.51	0.86	10.98	1.53	10.67	12.84	2.17	12.48	0.36	12.68	12.17	△ 0.51	9.42	2.75			
	12歳	13.24	12.83	△ 0.41	10.90	1.93	13.98	13.88	△ 0.10	12.58	1.30	12.48	11.71	△ 0.77	9.15	2.56			
	13歳	8.70	10.13	1.43	9.70	0.43	8.19	9.99	1.80	10.99	△ 1.00	9.25	10.28	1.03	8.35	1.93			
高等学校	14歳	11.01	11.07	0.06	9.05	2.02	12.93	11.23	△ 1.70	10.25	0.98	9.06	10.91	1.85	7.80	3.11			
	15歳	9.83	12.35	2.52	9.97	2.38	13.33	16.13	2.80	12.30	3.83	6.25	8.50	2.25	7.57	0.93			
	16歳	9.98	11.22	1.24	8.94	2.28	10.96	13.27	2.31	10.64	2.63	8.97	9.11	0.14	7.20	1.91			
	17歳	10.43	10.07	△ 0.36	9.02	1.05	9.60	10.96	1.36	10.92	0.04	11.31	9.14	△ 2.17	7.07	2.07			

(注)1. 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

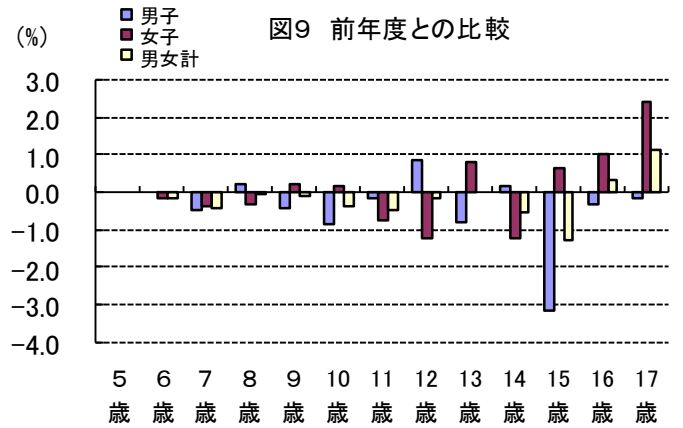
肥満度=(実測体重-身長別標準体重)/身長別標準体重×100(%)

2. 網掛け部分は、5~17歳のうち前年度差及び全国平均差の男女計、男子及び女子それぞれの増加分の最大値を示す。

3 瘦身傾向児の出現率

(1) 前年度との比較 (図9)

- ・男子は、8、12、14歳で前年度より増加している。
- ・女子は、9、10、13、15、16、17歳で前年度より増加している。



(2) 全国平均との比較 (図10)

- ・男子は、5、6、12、15、17歳を除く年齢で全国平均を下回っており、13歳では1.51ポイント低くなっている。
- ・女子は、5、6、14、15、16、17歳を除く年齢で全国平均を下回っており、12歳では2.11ポイント低くなっている。

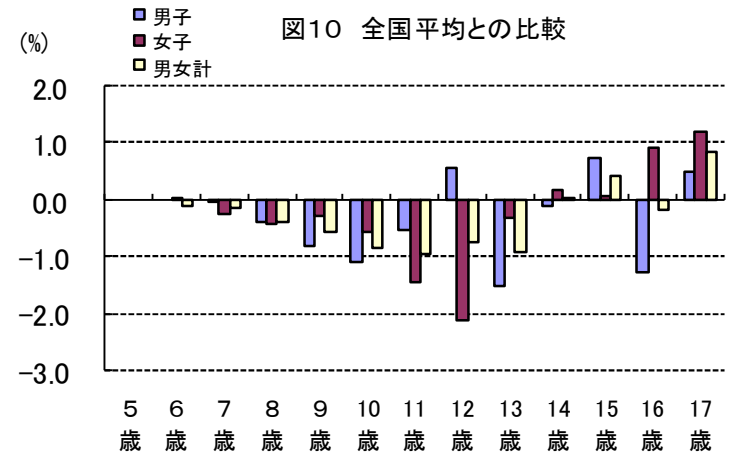


表4 瘦身傾向児の出現率

区分	年齢	計						男子					女子				
		R2年度	R3年度	対前年度	全国	高知-全国	R2年度	R3年度	対前年度	全国	高知-全国	R2年度	R3年度	対前年度	全国	高知-全国	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
幼稚園	5歳	0.41	-	-	0.33	-	0.61	-	-	0.30	-	0.19	-	-	0.36	-	
小学校	6歳	0.40	0.26	△ 0.14	0.38	△ 0.12	0.14	-	-	0.28	-	0.68	0.52	△ 0.16	0.49	0.03	
	7歳	0.72	0.30	△ 0.42	0.43	△ 0.13	0.75	0.28	△ 0.47	0.31	△ 0.03	0.69	0.32	△ 0.37	0.56	△ 0.24	
	8歳	0.48	0.44	△ 0.04	0.84	△ 0.40	0.26	0.46	0.20	0.84	△ 0.38	0.72	0.42	△ 0.30	0.83	△ 0.41	
	9歳	1.08	0.97	△ 0.11	1.54	△ 0.57	1.01	0.59	△ 0.42	1.42	△ 0.83	1.16	1.36	0.20	1.66	△ 0.30	
	10歳	1.86	1.49	△ 0.37	2.34	△ 0.85	2.05	1.21	△ 0.84	2.32	△ 1.11	1.66	1.79	0.13	2.36	△ 0.57	
中学校	11歳	2.01	1.54	△ 0.47	2.51	△ 0.97	2.50	2.31	△ 0.19	2.83	△ 0.52	1.48	0.74	△ 0.74	2.18	△ 1.44	
	12歳	2.72	2.55	△ 0.17	3.29	△ 0.74	2.75	3.59	0.84	3.03	0.56	2.70	1.44	△ 1.26	3.55	△ 2.11	
	13歳	2.06	2.04	△ 0.02	2.97	△ 0.93	2.05	1.22	△ 0.83	2.73	△ 1.51	2.07	2.89	0.82	3.22	△ 0.33	
高等学校	14歳	3.17	2.62	△ 0.55	2.59	0.03	2.40	2.53	0.13	2.64	△ 0.11	3.94	2.72	△ 1.22	2.55	0.17	
	15歳	5.27	3.98	△ 1.29	3.57	0.41	7.96	4.77	△ 3.19	4.02	0.75	2.53	3.17	0.64	3.10	0.07	
	16歳	2.32	2.65	0.33	2.84	△ 0.19	2.41	2.06	△ 0.35	3.34	△ 1.28	2.22	3.25	1.03	2.33	0.92	
	17歳	2.37	3.47	1.10	2.63	0.84	3.71	3.57	△ 0.14	3.07	0.50	0.96	3.37	2.41	2.19	1.18	

(注) 1. 瘦身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

肥満度=(実測体重-身長別標準体重)/身長別標準体重×100(%)

2. 網掛け部分は、5~17歳のうち前年度差及び全国平均差の男女計、男子及び女子それぞれの増加分の最大値を示す。

4 健康状態

(1) 主な疾病・異常の被患率（被患率別）

- ・幼稚園、小学校においては、「むし歯（う歯）」の者の割合が最も高く、次いで幼稚園は「歯列・咬合」が、小学校は「裸眼視力1.0未満の者」の順となっている。
- ・中学校、高等学校においては、「裸眼視力1.0未満の者」の割合が最も高く、次いで「むし歯（う歯）」の順となっている。

表5 学校種別疾病・異常の被患率順位

順位	幼稚園		順位	小学校		中学校		高等学校	
	区分	%		区分	%	区分	%	区分	%
1	むし歯(う歯)	33.0	1	むし歯(う歯)	46.6	裸眼視力1.0未満の者	61.7	裸眼視力1.0未満の者	70.3
2	歯列・咬合	7.5	2	裸眼視力1.0未満の者	33.5	むし歯(う歯)	32.4	むし歯(う歯)	47.0
3	口腔咽喉頭疾患・異常	6.5	3	(歯・口腔)その他の疾病・異常	12.4	(歯・口腔)その他の疾病・異常	13.3	歯列・咬合	7.7
4	その他の皮膚疾患	3.4	4	歯垢の状態	8.1	鼻・副鼻腔炎疾患	9.3	歯肉の状態	6.7
5	その他の疾病・異常	2.2	5	鼻・副鼻腔炎疾患	7.7	歯列・咬合	6.7	その他の疾病・異常	6.2
6	鼻・副鼻腔炎疾患	1.9	6	歯列・咬合	7.2	歯垢の状態	5.9	鼻・副鼻腔炎疾患	5.7
6	(歯・口腔)その他の疾病・異常	1.9	7	耳疾患	6.5	歯肉の状態	4.5	歯垢の状態	4.0
7	ぜん息	1.4	8	その他の疾病・異常	4.7	心電図異常	4.3	心電図異常	3.7
8	アトピー性皮膚炎	1.3	9	歯肉の状態	4.5	耳疾患	4.0	(歯・口腔)その他の疾病・異常	3.1
9	眼の疾病・異常	1.2	10	アトピー性皮膚炎	3.3	その他の疾病・異常	3.3	アトピー性皮膚炎	2.0

表6 主な疾病・異常の被患率(被患率別)

区分	裸眼視力		眼の疾病・異常	耳鼻咽喉頭			歯・口腔			せき 四肢の状態 柱・胸部	アトピー性皮膚炎	心電図異常	蛋白検出の者	ぜん息	
	1.0未満の者	0.3未満の者		耳疾患	鼻疾・副鼻腔患	口疾患・咽喉頭異常	むし歯(う歯)								
							計	処完了者	未処置者						
幼稚園	5歳	X	X	1.2	0.7	1.9	6.5	33.0	11.6	21.4	0.4	1.3	…	1.0	1.4
小学校	計	33.5	9.5	1.1	6.5	7.7	1.7	46.6	22.0	24.6	0.5	3.3	2.0	0.5	1.5
	6歳	20.7	1.2	1.9	11.5	9.2	3.3	35.6	11.3	24.2	0.3	3.6	2.0	0.3	1.6
	7	26.7	3.2	1.1	8.3	4.3	1.5	49.1	19.7	29.4	0.5	2.8	…	0.2	1.4
	8	30.8	6.5	1.5	5.2	8.8	2.4	55.1	26.0	29.1	0.3	3.8	…	0.3	1.6
	9	35.4	11.2	0.6	4.7	7.9	2.1	55.0	27.7	27.3	0.5	3.7	…	0.5	1.7
中学校	10	39.2	14.4	0.6	5.8	11.7	0.6	48.1	26.6	21.5	0.7	2.2	…	0.9	1.1
	11	47.0	19.7	0.7	3.7	4.4	0.6	36.9	20.4	16.5	0.6	3.5	…	0.9	1.7
	計	61.7	29.7	0.5	4.0	9.3	1.2	32.4	18.8	13.6	0.5	2.0	4.3	2.4	1.3
高等学校	12歳	59.2	31.7	0.6	6.4	10.2	2.1	29.0	17.7	11.3	0.5	2.1	4.3	2.0	1.2
	13	58.3	X	0.4	3.0	7.7	0.7	31.3	18.0	13.3	0.3	2.5	…	2.5	1.5
	14	67.2	X	0.4	2.5	10.1	0.8	36.9	20.8	16.1	0.6	1.6	…	2.6	1.4
高等学校	計	70.3	46.2	0.8	0.2	5.7	0.6	47.0	29.6	17.4	0.8	2.0	3.7	0.9	1.1
	15歳	75.4	45.1	1.0	0.2	5.5	0.8	42.3	25.2	17.1	1.0	2.3	3.7	1.1	1.3
	16	66.1	X	0.8	0.3	6.1	0.3	46.6	30.4	16.3	0.7	1.9	…	1.0	0.7
17	69.5	49.2	0.6	0.1	5.6	0.7	52.1	33.2	18.9	0.6	1.9	…	0.8	1.2	

(注) 1. 「…」は、調査対象とならなかった場合である。

2. 「-」は、数値がなかった場合である。

3. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値の公表なし。

(2) 主な疾病・異常の被患率（前年度比較）

- ・「裸眼視力 1.0 未満の者」の割合は、中学校、高等学校は前年度を上回っているが、小学校では下回っている。（図 11）
- ・「鼻・副鼻腔疾患」の者の割合は、小学校、中学校は前年度を上回っているが、幼稚園、高等学校では下回っている。（図 12）
- ・「むし歯（う歯）」の者の割合は、小学校、中学校は前年度を上回っているが、幼稚園、高等学校では下回っている。（図 13）
- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、小学校は前年度を上回っているが、幼稚園、中学校、高等学校では下回っている。（図 14）

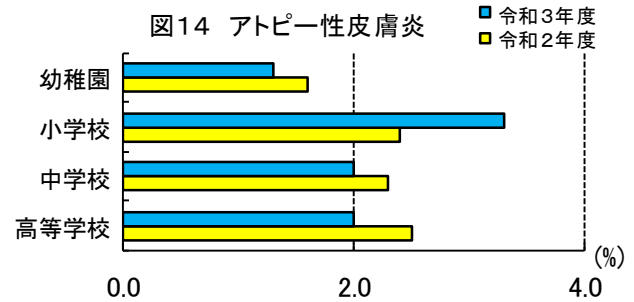
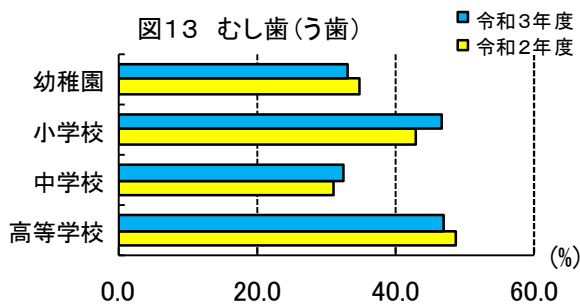
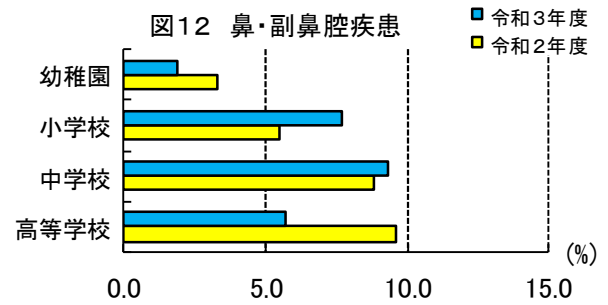
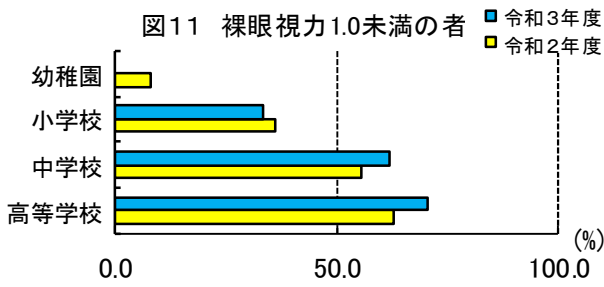


表7 主な疾病・異常の被患率（前年度比較）

区 分	裸眼視力		眼の疾病・異常	耳 鼻 咽 頭			歯 ・ 口 腔			せき柱・胸部	四肢の状態	アトピー性皮膚炎	心電図異常	蛋白検出の者	ぜん息
	1.0 未満の者	0.3 未満の者		耳疾患者	鼻疾・副鼻腔疾患	口腔疾患・咽喉頭異常	むし歯(う歯)								
							計	処完了置者	未処置者						
幼稚園	2	8.1	-	1.4	1.2	3.3	0.4	34.9	14.0	20.9	0.4	1.6	...	0.2	1.4
	3	X	X	1.2	0.7	1.9	6.5	33.0	11.6	21.4	0.4	1.3	...	1.0	1.4
対前年差	-	-	△ 0.2	△ 0.5	△ 1.4	6.1	△ 1.9	△ 2.4	0.5	0.0	△ 0.3	...	0.8	0.0	
小学校	2	35.9	10.8	0.6	4.6	5.5	2.1	42.9	21.1	21.8	0.5	2.4	2.3	0.8	1.3
	3	33.5	9.5	1.1	6.5	7.7	1.7	46.6	22.0	24.6	0.5	3.3	2.0	0.5	1.5
対前年差	△ 2.4	△ 1.3	0.5	1.9	2.2	△ 0.4	3.7	0.9	2.8	0.0	0.9	△ 0.3	△ 0.3	0.2	
中学校	2	55.7	28.0	0.6	2.0	8.8	2.7	31.1	17.7	13.4	0.5	2.3	3.3	2.1	2.0
	3	61.7	29.7	0.5	4.0	9.3	1.2	32.4	18.8	13.6	0.5	2.0	4.3	2.4	1.3
対前年差	6.0	1.7	△ 0.1	2.0	0.5	△ 1.5	1.3	1.1	0.2	0.0	△ 0.3	1.0	0.3	△ 0.7	
高等学校	2	62.8	40.8	1.5	0.3	9.6	0.5	48.7	26.6	22.1	0.8	2.5	3.5	1.6	1.3
	3	70.3	46.2	0.8	0.2	5.7	0.6	47.0	29.6	17.4	0.8	2.0	3.7	0.9	1.1
対前年差	7.5	5.4	△ 0.7	△ 0.1	△ 3.9	0.1	△ 1.7	3.0	△ 4.7	0.0	△ 0.5	0.2	△ 0.7	△ 0.2	

(注) 1. 「…」は、調査対象とならなかった場合である。

2. 「-」は、数値がなかった場合である。

3. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値の公表なし。

(3) 主な疾病・異常の被患率（全国比較）

- ・「裸眼視力1.0未満の者」の割合は、中学校は全国平均を上回っているが、小学校、高等学校では下回っている。（図15）
- ・「鼻・副鼻腔疾患」の者の割合は、全ての区分で全国平均を下回っている。（図16）
- ・「むし歯（う歯）」の者の割合は、全ての区分で全国平均を上回っている。（図17）
- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、小学校は全国平均を上回っているが、幼稚園、中学校、高等学校では下回っている。（図18）

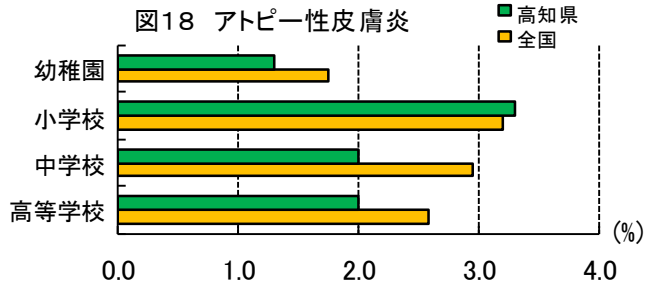
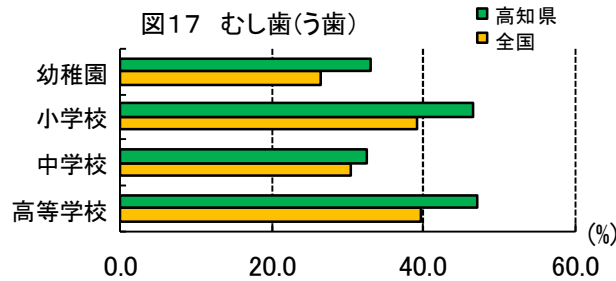
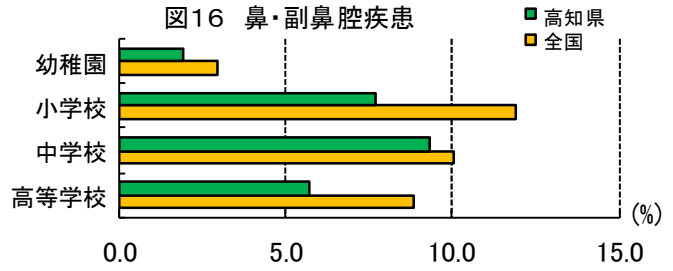
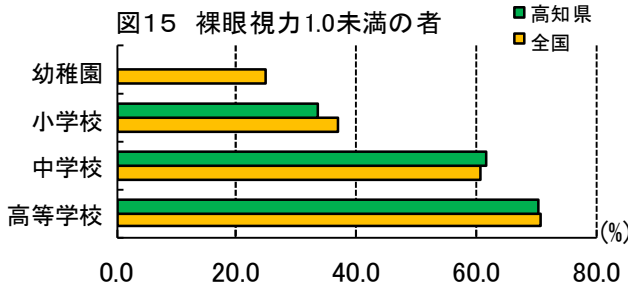


表8 主な疾病・異常の被患率(全国比較)

区分	裸眼視力		眼の疾病・異常	耳鼻咽喉頭			歯・口腔			せき柱・胸部の状態	アトピー性皮膚炎	心電図異常	蛋白検出の者	ぜん息	
	1.0未満の者	0.3未満の者		耳疾患	鼻疾・副鼻腔疾患	口腔疾患・咽喉頭異常	むし歯(う歯)								
	計	処完了者					未処置者								
幼稚園	全国	24.8	0.6	1.5	2.0	3.0	0.6	26.5	11.1	15.4	0.2	1.8	...	0.7	1.5
	高知県	X	X	1.2	0.7	1.9	6.5	33.0	11.6	21.4	0.4	1.3	...	1.0	1.4
対全国差	-	-	△0.3	△1.3	△1.1	5.9	6.5	0.5	6.0	0.2	△0.5	...	0.3	△0.1	
小学校	全国	36.9	10.6	5.1	6.8	11.9	0.9	39.0	20.6	18.4	0.8	3.2	2.5	0.9	3.3
	高知県	33.5	9.5	1.1	6.5	7.7	1.7	46.6	22.0	24.6	0.5	3.3	2.0	0.5	1.5
対全国差	△3.4	△1.1	△4.0	△0.3	△4.2	0.8	7.6	1.4	6.2	△0.3	0.1	△0.5	△0.4	△1.8	
中学校	全国	60.7	28.9	4.8	4.9	10.1	0.5	30.4	18.0	12.3	1.7	3.0	3.1	2.8	2.3
	高知県	61.7	29.7	0.5	4.0	9.3	1.2	32.4	18.8	13.6	0.5	2.0	4.3	2.4	1.3
対全国差	1.0	0.8	△4.3	△0.9	△0.8	0.7	2.0	0.8	1.3	△1.2	△1.0	1.2	△0.4	△1.0	
高等学校	全国	70.8	42.8	3.4	2.5	8.8	0.2	39.8	24.1	15.7	1.2	2.6	3.2	2.8	1.7
	高知県	70.3	46.2	0.8	0.2	5.7	0.6	47.0	29.6	17.4	0.8	2.0	3.7	0.9	1.1
対全国差	△0.5	3.4	△2.6	△2.3	△3.1	0.4	7.2	5.5	1.7	△0.4	△0.6	0.5	△1.9	△0.6	

(注) 1. 「…」は、調査対象とならなかった場合である。

2. 「-」は、数値がなかった場合である。

3. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値の公表なし。